

第 8 回 全国若年認知症フォーラム in 東京・目黒 開催報告

2009年の第1回以来の東京での開催となる第8回全国若年認知症フォーラムを、2月26日(日)に目黒区のめぐろパーシモンホールで行いました。今回は日本財団の助成を受け、東京都と目黒区との共催で開催をいたしました。

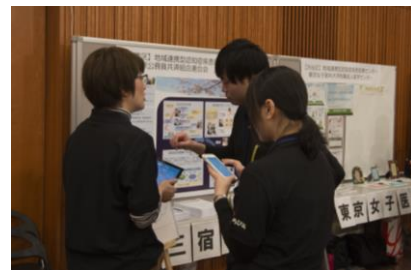


大ホールでは目黒区長と宮永先生の開会宣言から始まり、都立松沢病院院長齋藤正彦先生の基調講演「若年認知症を理解しよう」がありました。次に厚生労働省、東京都、東京都若年性認知症総合支援センターによるプレゼンテーションがあり、それぞれの取り組みや、機能、支援の実際などが発表されました。

パネルディスカッションⅠ・Ⅱではそれぞれ「早期発見と集中支援」「支援のかたち目黒の現場から」をテーマに行われ、医師、主任ケアマネジャー、若年性認知症支援コーディネーター、企業の人事部、看護師、当事者などの多種多様な立場の方が登壇し、議論を行いました。



一方、小ホールは客席のない平土間仕様となっており、手前から活動展示エリア、休息・交流エリア、パフォーマンスエリアと3つのエリアに分かれていました。活動展示エリアでは認知症疾患医療センターや目黒区内の病院の出展の他、全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会に加盟している全国の家族会などによるブースがあり、活動の紹介や作品の展示販売がありました。





パフォーマンスエリアではアートのワークショップ、若者ケアラーや家族会の座談会の他、D カフェ net の会報誌「でいめんしあ」の表紙イラストを描いている作家、杉本聖奈さんの手話トークなどもありました。最後は安楽亭くしゃみさんによる認知症落語でお開きとなりました。

大ホールは真剣に、小ホールは賑やかに、それぞれの会場で学びや交流が図れるフォーラムでした。来場者数は 546 名、登壇者やスタッフ等も含めると 700 人前後の盛大なフォーラムとなりました。ご参加いただいた皆さま、ご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。



次回は 2018 年 3 月 25 日青森県八戸市で開催予定です！